

東北地方 1か月予報

(8月25日から9月24日までの天候見通し)

平成19年8月24日
仙台管区気象台発表

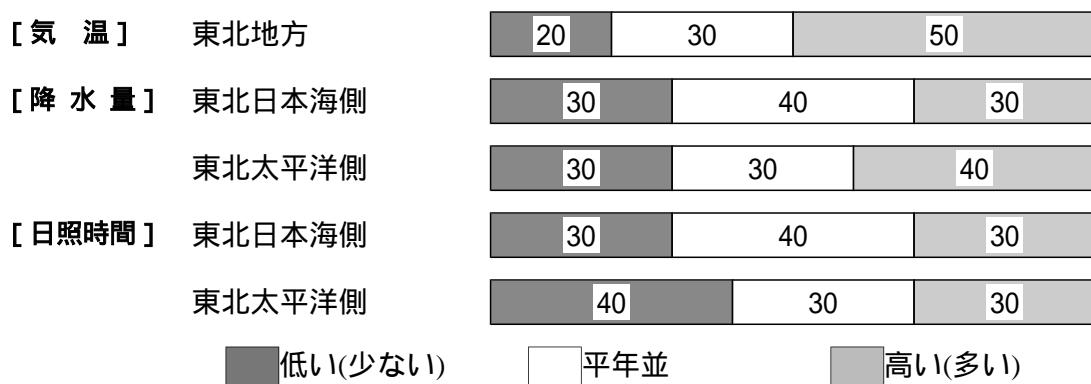
<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

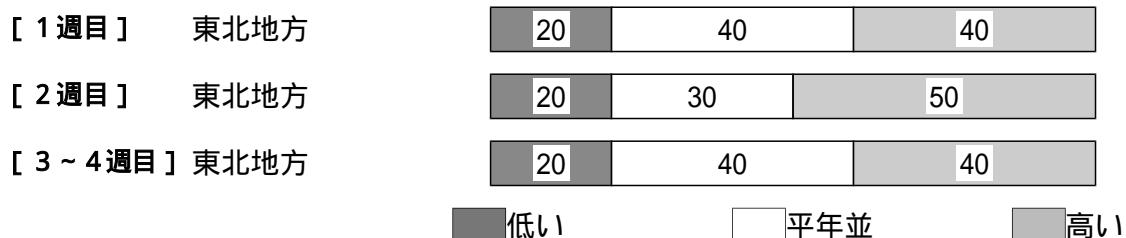
向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。

週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月25日(土) ~ 9月24日(月)
1週目 : 8月25日(土) ~ 8月31日(金)
2週目 : 9月 1日(土) ~ 9月 7日(金)
3~4週目 : 9月 8日(土) ~ 9月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は8月31日
3か月予報: 9月25日(火) 14時
寒候期予報: 9月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	20.0	135.5	168.8	22.0	21.0	19.0
深浦	20.2	183.9	164.7	22.2	21.2	19.2
むつ	19.0	186.1	145.6	20.8	19.9	18.1
八戸	19.6	186.3	149.0	21.4	20.5	18.8
秋田	21.2	197.8	168.0	23.5	22.2	20.1
盛岡	19.6	186.0	129.5	22.0	20.7	18.5
大船渡	20.3	244.6	126.3	22.2	21.3	19.5
宮古	19.6	240.1	130.3	21.5	20.5	18.7
仙台	21.4	225.5	126.3	23.3	22.4	20.5
石巻	21.0	171.9	142.1	22.8	21.9	20.1
山形	21.1	155.6	141.2	23.5	22.3	19.9
新庄	20.4	171.2	127.0	22.8	21.5	19.3
酒田	21.7	205.0	164.5	23.8	22.7	20.7
福島	22.0	177.4	123.5	24.3	23.2	20.9
若松	21.3	142.3	145.3	23.8	22.5	20.1
白河	20.3	247.0	121.8	22.5	21.5	19.2
小名浜	22.2	203.4	152.5	23.8	23.1	21.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.4	85 ~ 114	94 ~ 106
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	85 ~ 109	95 ~ 107
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.3	83 ~ 118	91 ~ 108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.8 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.4
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.8 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年8月24日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月25日~9月24日):

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、高い確率が50%です。

1週目(8月25日~8月31日):

期間の前半は高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の後半は気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く雨の降る日があるでしょう。

平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(9月1日~9月7日):

前線や低気圧の影響により、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、高い確率が50%です。

3~4週目(9月8日~9月21日):

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

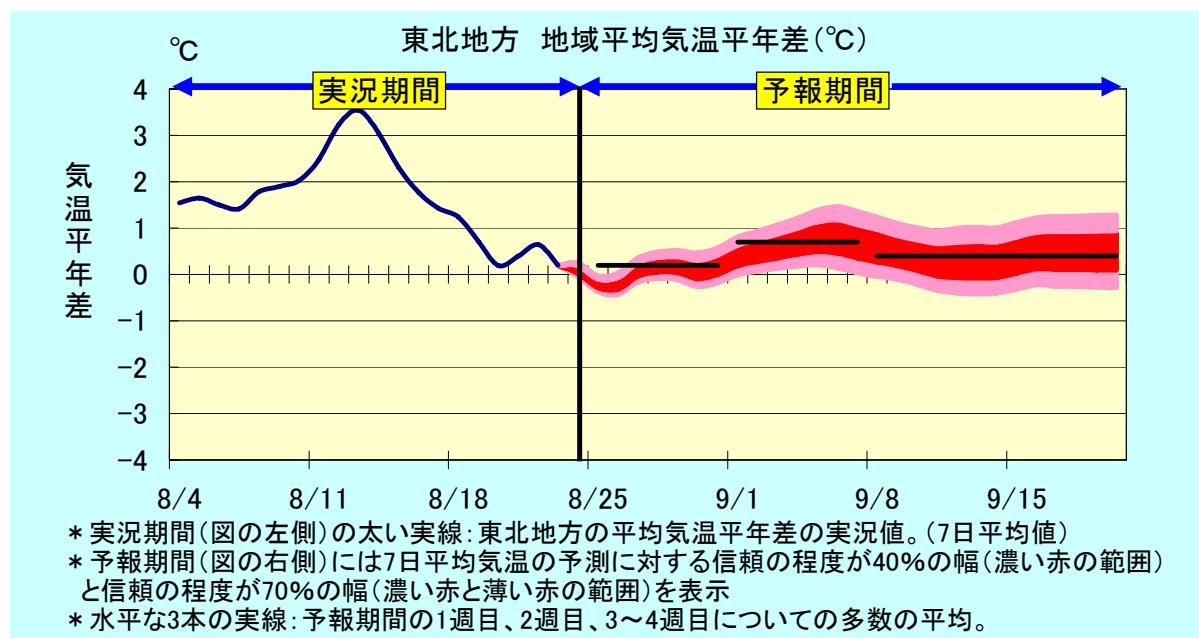
平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.0日	3.9日	3.6日	6.5日
東北太平洋側	12.2日	3.3日	3.1日	5.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年並、2週目、3~4週目はともに平年を上回る予想となっている。

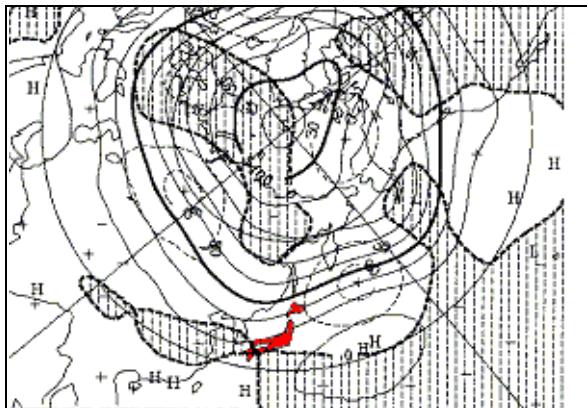


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本の東海上で太平洋高気圧が強く、北日本はカムチャツカ半島の南に中心を持つ正偏差に覆われ高温傾向。西日本以西を含む北緯30度帯は負偏差で、かつ、日本付近は西谷になっているため、前線や低気圧の影響もある見込み。

1週目：太平洋高気圧は先週に引き続き東日本以西を中心に強い。中緯度の上空の偏西風の蛇行は小さく、天気は数日の周期で変化する。日本の北には気圧の谷があるが、寒気の影響は一時的。

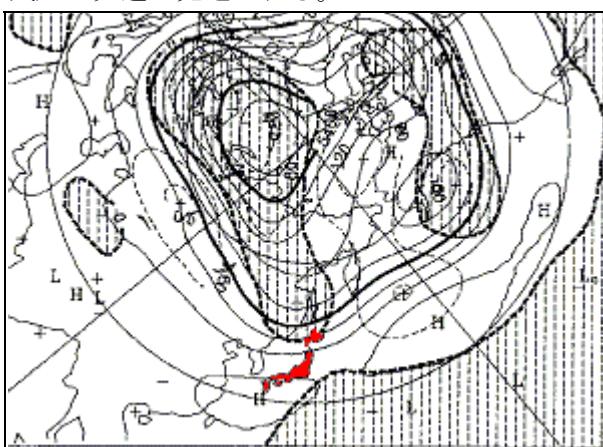
2週目：日本の東海上で太平洋高気圧が強く、日本の西に気圧の谷があり、上空の偏西風は大きく蛇行する。また、上空を南西から北東に流れる偏西風の流れが速いため、前線活動の活発化や低気圧の発達が見込まれる。



1か月平均 500 hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

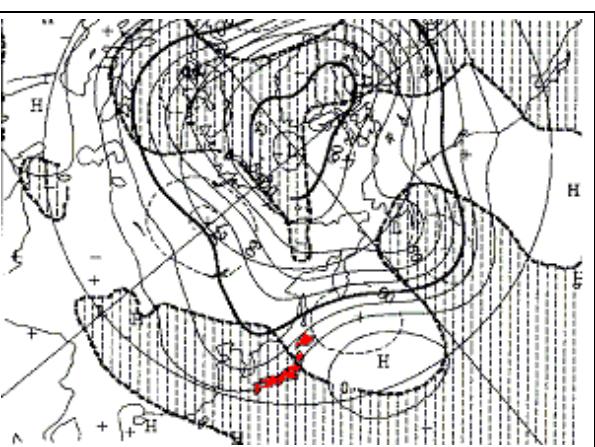
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

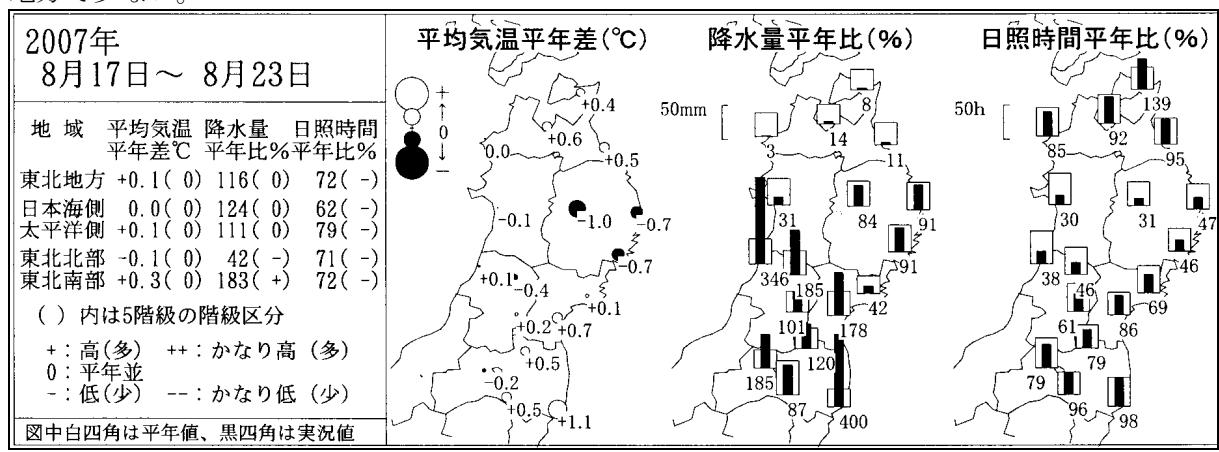


2週目平均 500 hPa 予想天気図

4. 最近1週間 (8月17日～8月23日) の天候の経過

この期間、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。20日から21日にかけては、上空を気圧の谷が通過したことと下層の暖気移流の影響により、秋田県では集中豪雨となり、土砂崩れや床上床下浸水などが発生した。また、22日にはサハリン付近の低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過し雷を伴って激しい雨となった。これにより、岩手県、秋田県、山形県、福島県で床上床下浸水や土砂災害などが発生した。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）